



- 身近にあるもので試してみる
- 身近なことから想像してみる
- 身近にある疑問を聞いてみる



新型コロナウイルスの感染拡大により、一時は外出自粓要請なども実施され、今までの生活様式や価値観では対応できない大きな社会的変化がありました。未知の感染症にまだ不安を抱える日々ですが、さまざまな経験をする中で、少しコロナとのつきあい方が見えてきたような気がします。そして、地球環境の変化による台風や大雨、地震など災害が多発する日本では、今までにさまざまな非常事態に対応することが求められています。しかしながら、ウイルスも災害もむやみに怖がるのではなく、日常的に正しく知り、理解し、把握することが安心感やいざという時の行動につながるのでは?ポストコロナの時代において、9月1日の防災の日をきっかけに、身近なところから緊急時の備えをあらためて考え直してみませんか?今回の j iwaj iwa では、自治体などが取り組んでいる防災に関する情報発信とは違うクリエイター部ならではの視点から、いざという時に対応できる取り組みについて考えたいと思います。

100円から始める防災

まずは防災グッズ。身近な100円ショップでも結構揃えられるということで、クリエイター部メンバーで市内のお店に行ってみました。あらかじめ下調べをして防災グッズをリストアップしていましたが、災害時や避難時のことイメージしたり、実際に話してみると、これがあると便利ね、きっと必要だねというものが結構出てきました。こうしてご家族や友人たちと防災のことについて、考えたり話したりすることも大切なですね。防災の第一歩は身近なところからスタートすること。今回登場する主婦Yちゃんと一緒に、防災グッズと備蓄品との違い、最低必要なもの、家族構成や生活スタイルなど、ポイントを抑えながら防災グッズ選びについて考えてみましょう。



好評だった
「みのり市」が
「吊り店」に大変身!!



10:00	15 日 (月)	15 日 (月)	18 日 (月)	14 日 (月)	16 日 (月)	19 日 (月)	予定表
16:00	19 日 (金)	19 日 (金)	22 日 (金)	18 日 (金)	20 日 (金)	23 日 (金)	

※日時の予定はやむを得ず変更する場合がございます。キチキチ駐車場が満車の場合は他の駐車場をご利用下さい。
※おつりはできるだけ無いようにご用意ください。



農(みのり)プロジェクトとは…
木津川市の“おいしい”をもっと身近に
地産地消の推進を通して、地域の魅力
を高める取り組みです。
【問合せ】木津川市農で頑張る協議会
事務局：木津川市マチオモイ部農政課

地元野菜を 食べよう。

吊り店をご存知ですか？木津川市の当尾地域がそれを発祥の地とも言われ、野菜やお漬け物などを吊りナタ台に吊つて無人で販売するスタイルです。今でも、イギングなどで訪れる方に人気です。木津川市情報発信基地キチキチでは館内1階の廊下に吊り店台を設置。今年6月から、木津川市産の新鮮な旬のお野菜やお茶やたけのこの加工品、手作りマスクやクルフトキットなどを毎月期間限定で販売しています。この取組は、農（みのり）プロジェクトで、農家さんたちと毎月第1・3土曜日に取り組んできた「みのり市」が今年3月で終了し、それを引き継ぐかたちで、新たに吊り店としてスタートしました。搬入される農産物さんと運良く出会えれば、大切に育てておられる野菜のお話や、品種にあつた料理方法もお聞きできかも。安心して食材を買いたい消費者にとって、生産者さんの顔が見える場は、いろんな発見や出会いもありそうです。また、手早くかんたんにお料理できる「食育アドバイザー・堤明日香さんのお料理レシピ」も付いていますので是非お役立てください。おいしく楽しく地元野菜を応援できる。地産地消の活動の